

季節の変化と、子どもたち

▼一度は鹿に入られてしまった畑ですが、なんとか持ちこたえてたくさんの野菜の収穫ができました。採れたジャガイモを焚き火で焼いた日もありました。



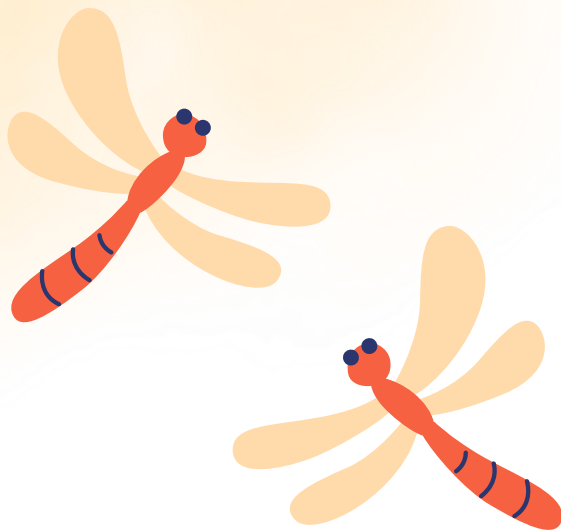
あんなに暑かった夏もあっという間に過ぎ去り、もりぴたの庭に秋の風が通り抜けます。セミ捕りやクワガタ探しは、いつの間にかトンボ捕りに代わり、季節の移り変わりと共に、緩やかに子ども達の遊びも変化していきます。羊がいる当たり前の日常も終わりを迎えてしまいましたが、もりぴたの庭には変わらず元気な笑い声が響いています。



▼好きな生き物は人それぞれ。とにかく羊をずーっと可愛がっている子、虫を捕まえるのに夢中な子、この日はカナヘビ大好きな子が集まって、「かわいいねー、かわいいねー」と手のひらにのせたカナヘビを愛でていました。



▲開拓した森には、ネットが設置されました。のんびりチームは、ネットの中でゆらゆらしながら雑談、激しめチームは登ったり揺らしたり。それぞれの楽しみ方があります。



池のメダカを観察していると、カエルがぴちゃんと飛び込んできました！着々とビオトープ化が進んでいます。

もりぴただより

9月号

発行日
9月30日

カエル

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火
	保護者面談 個別支援計画作成会議			見学 オープンデー		見学 個別支援計画作成会議					T a i k C a f é &	見学 個別支援計画作成会議	見学 個別支援計画作成会議	学校連携会議 保護者面談				見学 オープンデー	保護者面談 学校連携会議	運営会議	虐待防止委員会 衛生管理委員会	保護者面談			個別支援計画作成会議 ボランティア受入 丘珠高校放送局取材来訪			おがる研修	保護者面談

9月の予定

変わるということ～営業日の変更によせて～

こんにちは。管理者の崎川です。皆さま、いつももりぴたの運営と支援にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

もりぴたは、2026年10月より、土曜日を閉所し、月曜日から金曜日までの開所へ変更することといたしました。変更にあたり、利用曜日の調整などにご協力いただいた皆さまには、改めて感謝申し上げます。

今回の変更には、人員確保の難しさをはじめ、さまざまな理由があります。利用者の皆さまにご迷惑をおかけする面がありながらも、事情をご理解いただき、協力しながら変化を進められたことに、私は大きな価値を感じています。

「変わること」は、もりぴたが子どもたちに伝えたいことのひとつです。

そもそも、生き物にとって変わることは、生きていくための大切な営みです。生き物は、外からの刺激に「反応」し、環境に「順化」します。さらに長い時間の中では、環境に合った特徴をもつものが生き残り、世代を重ねながら「適応」や「進化」へとつながっていきます。

例えば、ヒマワリが太陽の動きを追うのは、光を受けるための反応の一つです。乾燥した地域に生きるサボテンが、葉をトゲに変え、茎に水を蓄える姿になったのは、長い時間をかけて環境に適応してきた結果です。環境が変わるなかで、自らも少しずつ変わることが、生き物の命をつないできました。

一方で、私たち人間は、変化を負担や不安と感じることがあります。慣れた場所、慣れた人、慣れた手順のなかにいると、安心して過ごすことができます。

心理学などでは、このような安心できる範囲を「コンフォートゾーン」と呼びます。コンフォートゾーンは、決して悪いものではありません。安心して休み、自分を取り戻すために必要な場所です。しかし、そこから一步も出ないまましていると、新しい人や経験、まだ知らない自分と出会う機会も少なくなります。反対に、急に遠くまで踏み出せば、不安が大きくなり、動けなくなることもあります。

大切なのは、安心できる場所を土台にしながら、自分で選び、少しだけ外へ踏み出してみるのだと思います。やってみて難しければ戻ってもよい。やり方を変えて、もう一度試してもよい。その小さな往復のなかで、できることや安心できる範囲は少しずつ広がっていきます。

これは、もりぴたが大切にしている支援にも重なります。子どもを無理に変えようとすると、まず安心できる関係と環境をつくる。そのうえで、子ども自身の興味や選択を起点に、少し新しいことへ踏み出せるよう支える。失敗や迷いも、元に戻すべき出来事ではなく、次の方法を考えるための経験として受け止めます。

もりぴた自身も、完成された場所ではありません。子どもたちやご家族、職員、地域の皆さまと関わりながら、守るべきものは守り、変えるべきものは変えていく必要があります。

今回の営業日の変更も、その一つです。変わることに不安や不便が伴います。それでも、変化を避けるのではなく、よりよいあり方を考え、対話し、試しながら進んでいく。子どもたちにそう伝える場所であるために、私たち自身も、変わることを好意的に受け止められる組織でありたいと思います。(管理者 崎川)

今月のお知らせ

今月の安全対策

9月は、虐待防止委員会と、衛生管理委員会を実施しました。衛生管理委員会では、これからの感染症が流行する季節に向け、対策等の検討をしました。今年はインフルエンザの流行が早いという情報もあり、アルコール消毒の推進などについて話し合いました。

お願い～衣服の用意～

寒暖差が大きくなってくる季節になりました。夕方にかけて、外で遊んでいると肌寒い日も多くなってきましたので、気候に合わせて調整可能な、薄手のウィンドブレーカーや上着などをご用意いただくと助かります。

10月のもりぴたオープナー

*開催曜日が変わりました

毎月第2・第4 木曜日開催

詳細・申込はこちらから↓

利用を検討中の方、関係機関の皆様がもりぴたを見学できる日です。時間は30分程度。申し込みフォームより事前にお申し込み下さい。



[所在地] 札幌市南区真駒内165-206

[電話番号] 011-211-6882

[HP]<https://moripita.com/>

[スタッフ] 12人

[利用者] 児発：3人、放デイ：29人

羊とのお別れ



約1ヶ月間一緒に過ごしてきた羊が、羊飼いさんの元に戻っていききました。羊との関わりは、その子によって様々です。最初は「興味ない」と言っていた子も、実は関わり方がよく分らない事やちょっと怖いという気持ちからそのように言っていただけということもあります。お友達の様子を見て関わり方を知ったり、大人と一緒に近付いてみるというきっかけがあるだけで、見違えるほど積極的に関わる様子も見られました。

最後はみんなでリードを引いて、お別れしました。たくさん楽しい思い出くれた羊にありがとうの気持ちでいっぱいです。

来月のプログラムカレンダー

もりぴたでの環境を生かした自然遊びなど、毎日様々なプログラムを行っています。メインプログラムだけではなく、子どもたちのやりたい気持ちに合わせた遊びも行っております。

2026年10月児童発達支援プログラム											
曜日	日	月	火	水	木	金	土				
児発					1	2	3				
放デイ					4	5	6				
放デイ					7	8	9				
放デイ					10	11	12				
放デイ					13	14	15				
放デイ					16	17	18				
放デイ					19	20	21				
放デイ					22	23	24				
放デイ					25	26	27				
放デイ					28	29	30				
放デイ					31						

2026年10月放課後等デイサービスプログラム											
曜日	日	月	火	水	木	金	土				
放デイ					1	2	3				
放デイ					4	5	6				
放デイ					7	8	9				
放デイ					10	11	12				
放デイ					13	14	15				
放デイ					16	17	18				
放デイ					19	20	21				
放デイ					22	23	24				
放デイ					25	26	27				
放デイ					28	29	30				
放デイ					31						